



- ①植木小学校出発 子どもたちには笑顔がみられます。
- ②腹切坂も歩きました。
- ③歩いた時は彼岸花がとてもきれいでした。
- ④自分の笠に寄せ書きを書いてもらいました。
- ⑤文化係職員の説明を聞く子どもたち。
- ⑥ゴール 皆さんお疲れ様でした。

～豊前街道を歩いてみて～

やなぎはら いすみ
柳原 惟純さん(馬場) 菊水中央小6年

僕は、『豊前街道を歩く会』に参加して、歩くつらさを知りました。

初めは「ただ歩くだけだから大丈夫」と思っていたけど、ぜんぜんちがいました。12kmをこえたあたりで足はすごく重く、あまり思うように動きませんでした。今でもあのつらさを思い出します。それでもたえてたえて、やっとスカイドームについたとき、ぼくはうれしさと達成感でいっぱいでした。けど、昔の人はこの何倍も歩いているからすごすぎると思いました。今度、またこのように歩くことがあったらめいっぱい歩きたいです。

きたはら かほ
北原 花帆さん(下平野) 三加和小6年

私は、『豊前街道を歩く会』に参加して、すごいなあと思ったことがあります。それは、植木小から南関町まで、2日間かかるのに昔の人は、江戸まで歩いていったからです。それに、いまは、しっかりしたくつがあるけど、昔は、くつじゃなくてわらじなどをはいて歩いたからです。次に、豊前街道に行って楽しかったことは、他の学校の人と一緒に話したりできたことです。理由は、話したことのない人と話したりして仲よくなれたからです。歩くのはきつかったけど、あんなにたくさん歩くこともないと思うし、歴史のことについても少し知ることができたと思うのでいい経験になったと思います。来年、豊前街道を歩く会に参加する人たちもがんばってほしいなあと思います。



南関町御茶屋跡での一枚

9月19日(土)・20日(日)の2日間をかけて豊前街道を歩きました。これは、和水町豊前街道を歩く会が企画しており、今年で9回目を数えます。今回は、町内の小学6年生50人が参加。1日目は、熊本市の植木小学校からスカイドーム2000へ、2日目は、スカイドーム2000から南関町の御茶屋跡を目指し、いろいろな名所や史跡を巡りながら、約40kmを歩きました。また、ただ歩くだけでなく、史跡や名所で、社会教育課文化係の職員や寺の住職の話に真剣に耳を傾けている姿も印象的でした。豊前街道を歩いた皆さん、本当にお疲れ様でした。

豊前街道とは？
近世(九州では、豊臣秀吉が九州平定した1587年に始まる。)・肥後(熊本)における主要な道路は、熊本市新町1丁目の札の辻を起点とする「豊前街道」「豊後街道」「薩摩街道」「日向街道」の4本でした。
このうち、豊前街道は、札の辻から熊本市(京町・山伏塚・御馬下の角小屋など)、熊本市植木町(味取・光勝寺など)、山鹿市(善行寺・惣門など)、和水町(八ヶ並木・腹切坂・光行寺など)、南関町(肥猪町・御茶屋など)を経て小倉に至る道で、参勤交代などにも利用されました。

第9回 豊前街道を歩く会

